

# 第一礼拝次第



説教：カク・ヨンドン牧師  
通訳：ユン・ソヨン姉

前奏			
頌栄	5 4 0	会衆	
主の祈り			
プレイズ	「世のはじめ」 「主イエスキリストの恵み」		
聖書朗読	ヘブライ人への手紙 2：1-4 (新約聖書 p 402)	司会	
祈禱		司会	
賛美	1 6 4	会衆	
説教	「主が与えられた救い」	牧師	
祈禱			
賛美	5 2 9	会衆	
献金			
報告		司会	
頌栄	新生 6 7 2 b	会衆	
祝禱		牧師	

## <巻頭言>

「離れ、なおも進んで、」  
牧師 渡真利彦文

ある時主はアブラムに、「あなたは生まれ故郷、父の家を離れて、わたしが示す地に行きなさい。」(創世記 12・1) と言われました。「離れる」とは「出る」「分離する」ということです。主がアブラムに求めたことは、新しい地に行くために、まず「あなたの生まれ故郷」、「あなたの父の家」から離れることだったのです。それは、今まで彼が慣れ親しんでいたものから離れることでした。主の導きに応えていこうとするとき、それまで大事にしてきたものを捨てたり、従来やり方や生き方から離れることが必要になります。それはしばしば苦痛が伴うものでしょう。主の導きに応えるために、あなたは何かから離れる必要性を感じますか。

アブラムは約束の地に到着した時、まず主に祭壇を築き、主の御名によって祈りを捧げました。「アブラムはさらに旅を続け、...」素晴らしいスタートでした。ところが祭壇のあるベテルを離れて旅を続けたところで誘惑に逢うことになりました。アブラムをカナンに導かれたお方は、飢饉にあっても食料を備える力をお持ちのはずです。ところが、彼は信仰を働かせる代わりに、自分の小さな頭で計算し、エジプトを逃れ場として選んでいきました。その結果、主が飢饉から彼を守られるお方であることを体験する大切なチャンスを逃してしまうのです。今あなたにとって信仰を働かせるとは何を意味していますか。



# 第二礼拝次第

説教：渡真利彦文牧師

聖書：出エジプト記 3：1-15  
メッセージ：「モーセと燃える芝」  
プレイズ：「主はあなたを守る方」 「土の器」  
賛美：新生 7 3 新生 5 6 6



## ファミリー礼拝

聖書：使徒言行録 3：1-10  
メッセージ：「ナザレの人イエス・キリストの名によって」